

絶対評価を伴う競技を行う競技者と相対評価を伴う競技を行う競技者の性格特性比較

Character characteristic comparison of athletes who plays sports with absolute grade
and athletes who plays sports with comparative grade

1K03A132-5 氏名 田中 潤
指導教員 主査 宝田 雄大 先生 副査 内田 直 先生

目的

スポーツ選手と一般人の性格を比較すると、スポーツ選手は一般人に比べ「明朗快活」、「積極的で行動力がある」、「困難に挫けない」という違いがあると言われている。その真偽を確かめる。

またスポーツ選手の中にも、競技の違いによって性格の違いがあると考え、その是非を調べる。

被験者は大学に入学してからも体育会の部活動（種目は特定しないが絶対評価を受ける競技に限る。）を行っている人（既に引退した人も含む）29人、ダンス（ダンスの種類は定めていない）を5年以上続け、クラブなど、自分の普段の練習の成果を発表する場を持つ人13人、大学にバレエを専攻として入学し、現在も踊り続けている人18人を対象とし、絶対評価を受ける競技の競技者のグループ、相対評価を受ける競技の競技者のグループ、この二つのグループを比較し、性格の違いを考察することにした。

方法

スポーツ心理学の研究において、多用されている Y-G 性格テストを用い、被験者60人を対象としてアンケートを行った。Y-G 性格テストを用いた理由として、手軽に利用することができる点、自分で採点することが可能な点、多くの研究で利用されているので過去の研究と比較しやすい点があるからである。また、各性格因子を採点し、どの因子が高い値を表しているか以外に、標準得点が割り振られているため、より分かりやすく比較することができるからである

被験者の内訳としては、大学に入学してからも体育会の部活動（種目は特定しないが絶対評価を受ける競技に限る。）を行っている人（既に引退した人も含む）29人、ダンス（ダンスの種類は定めていない）を5年以上続け、クラブなど、自分の普段の練習の成果を発表する場を持つ人13人、大学にバレエを専攻として入学し、現在も踊り続けている人18人を対象とした。

結果 (人)

相対評価

	D	C	I	N	O	Co	Ag	G	R	T	A	S
1点	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
2点	10	16	9	12	5	10	13	5	4	2	1	0
3点	16	8	13	11	14	15	10	16	1	9	17	2
4点	5	6	9	8	9	4	6	9	21	14	13	22
5点	0	0	0	0	3	2	0	1	5	6	0	7

絶対評価

1	D	C	I	N	O	Co	Ag	G	R	T	A	S
1点	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
2点	16	15	12	12	1	6	9	1	0	4	1	0
3点	8	5	10	9	9	13	9	12	10	6	12	10
4点	5	7	8	7	13	7	10	15	17	12	14	11
5点	0	0	0	1	6	2	1	1	2	7	2	8

この結果、相対評価を受ける競技者は社会的適応力がその他の競技者と比べ高いということが分かる。

論議

相対評価を受ける競技者は、演技をしている最中意外でも常に評価されていると考えられる。バレエダンサーでは、指導者に評価されて初めて舞台に立てる。技術力、演技力も重要な要素だが、それ以外にも態度、言葉遣いなど、指導者に気に入られるということも重要な要素となってくる。ダンサーも同様にオーガナイザーに気に入られることで、イベントに出演することができる。こういった周囲の人に気を使うことを常に行う環境が、性格の差に影響を与えていると考えられる。

考察

相対評価を受ける競技者と絶対評価を受ける競技者の間には社会的適応性において差が現れている。これは相対評価を受ける競技を取り巻く環境が性格に影響を与えているからと考えられる。また、環境が性格に影響を与えているのならば、性格が競技種目を選んでいではなく、その競技を練習する内に、その競技を行う上で取り巻く、周囲の環境の影響での結果、性格が変化していると考えられる。